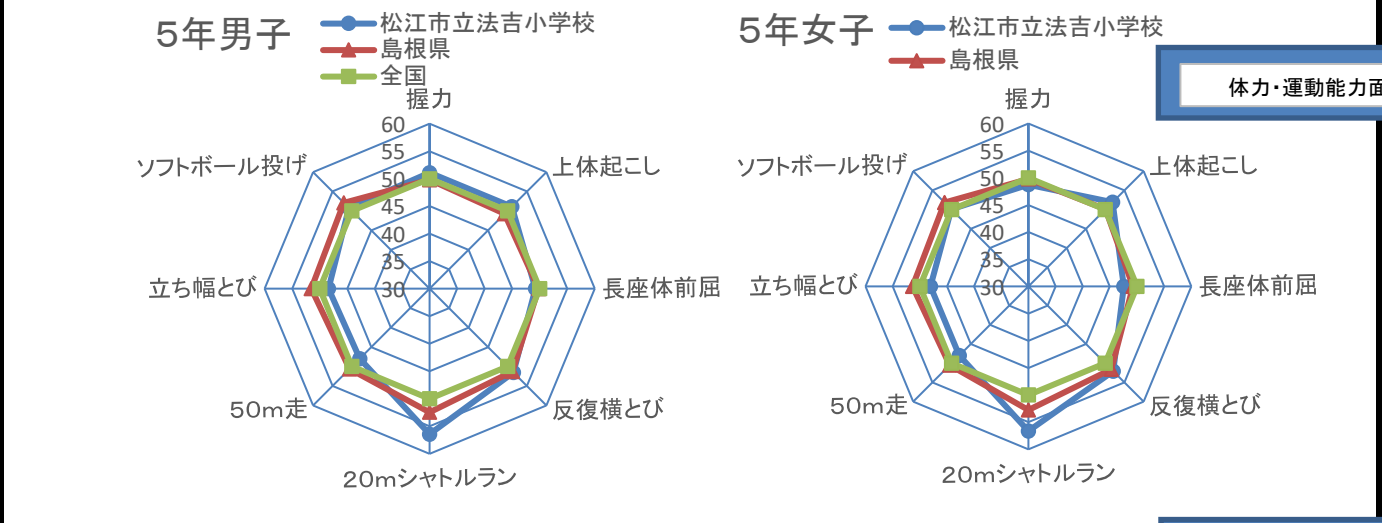
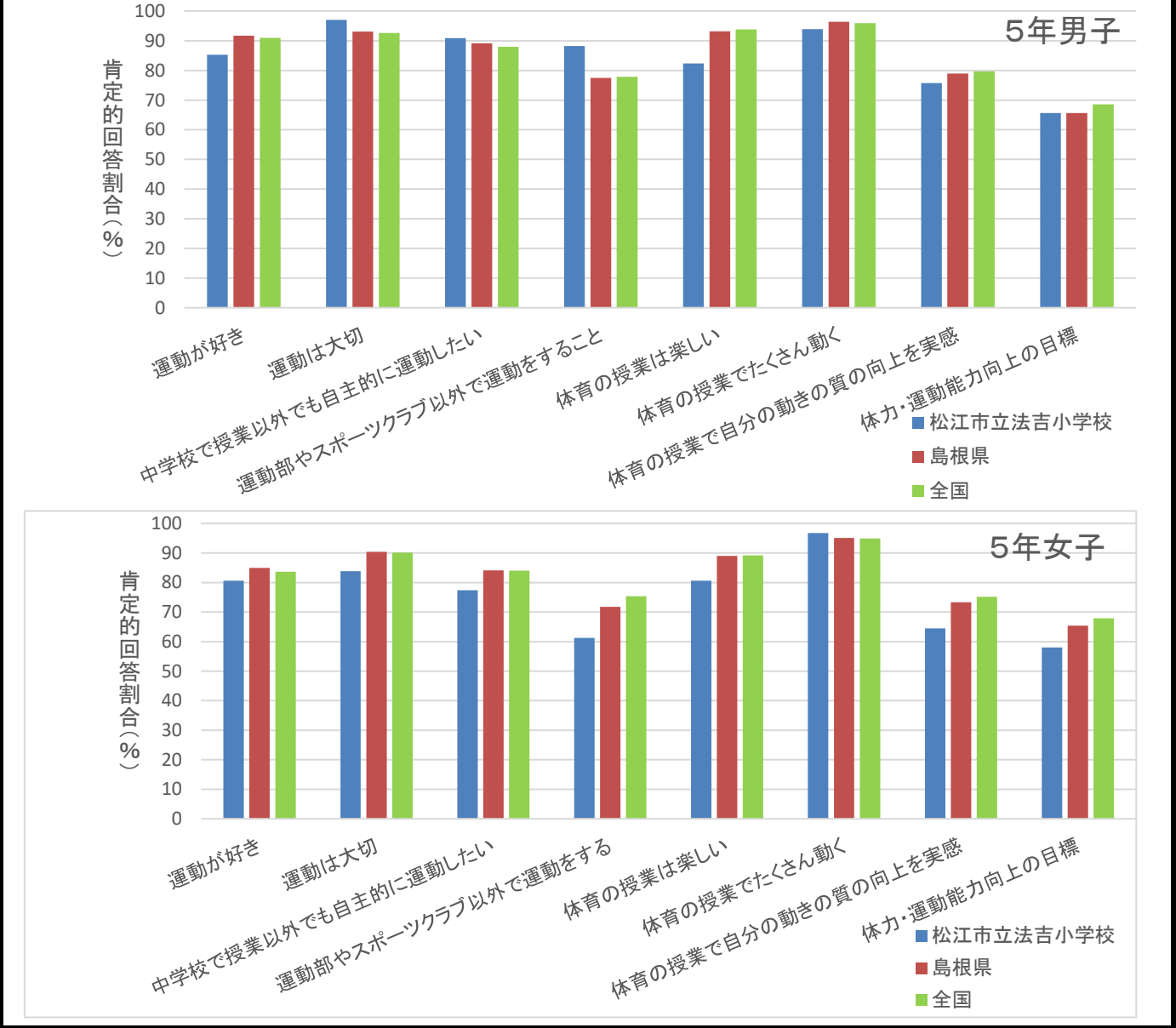


(1) 令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果(全国平均を50としたときの比較)

(2) 調査結果の分析



全国体力・運動能力調査、運動習慣等調査＜意識調査＞の結果
(体力合計点との相関が指摘されているものや松江市教育委員会として注目しているものを挙げています)



① 体力・運動能力面

強み
○男子では「握力」「上体起こし」「反復横跳び」「20mシャトルラン」「ソフトボール投げ」が全国平均を上回っている。特に「全身持久力」が強い。
○女子では「上体起こし」「反復横跳び」「20mシャトルラン」「ソフトボール投げ」が全国平均を上回っている。特に「全身持久力」が強い。
課題
●男子では「長座体前屈」「50m走」「立ち幅跳び」が全国平均を下回り、特に「走力」が課題。
●女子では「握力」「長座体前屈」「50m走」「立ち幅跳び」が全国平均を下回り、特に「柔軟性」が課題。
次年度の対策
○体育授業の導入に柔軟性を高める運動やダッシュやスキップ、けんけんなど様々な運動を取り入れていく。そうすることによって、課題である柔軟性の向上や多種目における体の使い方が良くなり、健康な体づくりもできると考える。

② 意識面

強み
○男子では「運動は大切」「中学校で授業以外でも自主的に運動したい」「運動部やスポーツクラブ以外で運動すること」の割合が全国平均よりも高い。
○女子では「体育の授業でたくさん動く」の割合が全国平均よりも高い。
課題
●男子では「運動が好き」「体育の授業は楽しい」「体育の授業でたくさん動く」「体育の授業で自分の動きの質の向上を実感」「体力・運動能力向上の目標」の割合が全国平均よりも低い。
●女子では「運動が好き」「運動は大切」「中学校で授業以外でも自主的に運動したい」「運動部やスポーツクラブ以外で運動をする」「体育の授業は楽しい」「体育の授業で自分の動きの質の向上を実感」「体力・運動能力向上の目標」の割合が全国平均よりも低い。
次年度の対策
○タブレットを使い友達の動きを撮影することで、良いところや課題を一緒に考え、自分や友達の動きの質の向上を実感できるようにする。

(3) 令和4年度の方針【学校全体での取組】

- ① 体力向上や体育授業に関する校内研修会等の計画について
・年度初めに、本校の課題や体力向上への取り組みを職員会で考える。
- ② 体育科授業の工夫・改善について
・多様な体の動きを意識した運動を授業の導入で取り入れる。
・タブレットで運動の様子を撮影し、それを見ながら子ども同士で話し合う活動を取り入れる。
- ③ 体育授業以外の活動の工夫について
・体育委員会の取り組みとして、来年度も「走れ！法吉っ子マラソン」に取り組み、持久力の向上を目指す。
・なわとびカードを学年ごとに配布し、休み時間も取り組めるようにする。
- ④ 家庭・地域、近隣の学校・園等との連携、情報発信について
・保護者や地域へ児童の体力の現状を伝える機会を設け、運動の機会が増えるよう啓発していく。
・メディアコントロールウィークとタイアップし、家庭での規則正しい生活リズムを整え、運動機会が増えるよう啓発していく。